

授業科目

英語応用（プレゼン）【峯島 道夫】

担当教員名 峯島 道夫	対象学年	2・3・4	対象学科	全学科
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎

授業の概要

この授業は、今後社会においてますますその必要性が高まるとされる英語による自己表現の技能の習熟を念頭に、さまざまな活動を行う。具体的には、スピーチ、インタビュー、プレゼンテーションなどである。理論よりも実践により重点が置かれ、受講者の意欲的な参加が不可欠となる。

授業の目的

この授業は、スピーチ、インタビュー、プレゼンテーションなどの活動を通して、英語による自己表現に習熟することを目的とする。

学習目標

1. テーマを決めた2分程度の英語のスピーチができる。
2. 即興のインタビューに英語で答えられる。
3. パワーポイントを用いて10分程度の英語によるプレゼンテーションができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	講義・演習	峯島 道夫
2	スピーチ（1）	講義・演習	峯島 道夫
3	スピーチ（2）	講義・演習	峯島 道夫
4	スピーチ（3）	講義・演習	峯島 道夫
5	スピーチ（4）	講義・演習	峯島 道夫
6	スピーチ（5）	講義・演習	峯島 道夫
7	スピーチ（6）	講義・演習	峯島 道夫
8	まとめ（1）	演習	峯島 道夫
9	プレゼンテーション（1）	講義・演習	峯島 道夫
10	プレゼンテーション（2）	講義・演習	峯島 道夫
11	プレゼンテーション（3）	講義・演習	峯島 道夫
12	プレゼンテーション（4）	講義・演習	峯島 道夫
13	プレゼンテーション（5）	講義・演習	峯島 道夫
14	プレゼンテーション（6）	講義・演習	峯島 道夫
15	まとめ（2）	演習	峯島 道夫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	Speaking of Speech New Edition	David Harrington 他	Macmillan Languagehouse	2011年	2,500円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

授業における小タスク（70%）と最終のパフォーマンス課題（30%）で評価する。

履修上の留意点

授業には皆勤で臨んでください。

オフィスアワー・連絡先

木曜日午後：J402研究室